

取組紹介

体験教室

野菜や果物からDNAを抽出しよう(中学生編)

開催日 令和5年8月3日 場所 秋田大学理工学研究科

理工学研究科の本田 晴香助教を講師に迎え、理工学研究科の実験室にて、実際に、身近な野菜や果物からDNAを取り出して、染色したり、顕微鏡で観察したりしました。

当日は、大学院生3名が実験のサポートにあたり、グループごとに機器の操作を手伝うとともに、大学生活や勉強のことなど、参加者とお話しをする機会を設けました。

プロコリールをつぶして
DNAを抽出する様子



ピペットマンの使い方を練習



student's voice

自分の将来やりたいことに近い内容で、「こんなことするのか」と具体的に学ぶことができ、とても充実した会でした。

理系分野にはもともと興味があって、将来もそういった職業に就きたいと思っていただけ、今日の体験から、もっと関心につながったし、明確な目的とか理由も近づけたと思う。

中高生のみなさんへ

理工学研究科
生命科学専攻 生命科学コース
本田 晴香 助教



今回の体験教室では、DNA抽出や細胞の観察など、生命科学実験の一端に触れて頂きました。高校では、建築家を夢見て理系を選択しましたが、化学の先生との出会いをきっかけに、大学は化学科に進学しました。そして今、細胞を使った研究をしているなんて、高校生の頃には全く想像していませんでした。様々な人との出会いが、今の私を造っていると思います。中高生の皆さんも、人との出会いの場を大切にしてください。体験教室が、その一つになったことを願っています。